

『ことばの力』を意識して・・・



今年の本校の研修の柱のひとつは、「人とつながる『ことばの力』に視点をあてた授業づくり」です。本校では、『ことばの力』を「コミュニケーションや思考判断に必要な力」と捉えて研修を進めます。

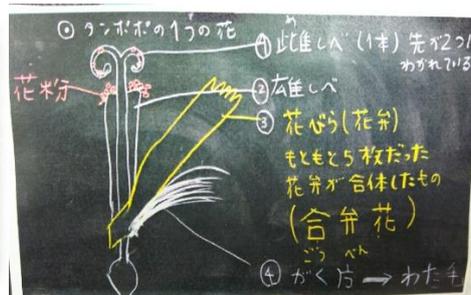
私たちは、「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を具現化して、そして、「何を学んだのか」を検証して、子どもの能力を引き出す『学びの本質』に迫る授業づくりをしたいと考えています。



中学部体験学習「コミュニタニ福島」では、様々な体験を通して感じた、たくさんの気づきと発見を自分の「ことば」で表現しました。



小学部1年生では、うろこに見立てた好きなもののカードを「ことば」で表現しながら「すきなものこいのぼり」を完成させました。



高等部 JA「ふあせるたむら」の体験実習では、説明を聞いて！確認して！実践を！ 理科の学習でもたくさんの「ことば」を学習します。

小学部5・6年1組の教室の前に「はるしんぶん」が掲示してあります。子どもたちが、学校の周りを散策して発見した、たくさんの春を「新聞」としてまとめたものです。新聞には、写真があり、絵があり文字がありとバラエティーに富んでいますが、その中で、きらりと輝く表現があったのでご紹介します。

「くもりのひ たんぽぽさむくて まいている」

子どもたちの感じる心とその表現を大切にしながら「ことばの力」を育てていきたいと思ひます。

平成30年5月



～児童生徒一人ひとりの夢の実現をめざして～

福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子